

(11) 沖縄



沖縄地域では、景気は緩やかに回復しつつある。

- ・ 観光は持ち直している。
- ・ 個人消費は増加している。
- ・ 雇用情勢は厳しい状況にあり、持ち直しに足踏みがみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

前回調査からの主要変更点

	前回(平成24年11月)	今回(平成25年2月)	
景況判断	回復の動きがさらに緩やかになっている	緩やかに回復しつつある	
観光	緩やかに持ち直し	持ち直し	
個人消費	緩やかに増加	増加	
住宅建設	大幅に増加	増加	

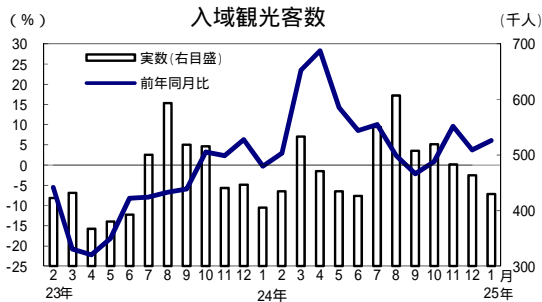
1. 観光及び企業動向

(1) 観光は持ち直している。

入域観光客数のうち、国内客については、LCCによる成田・関西からの客数増加や年末年始の日並びの良さから、10月から1月の各月において前年同月実績を上回った。

外国客については、尖閣諸島を巡る状況の変化の影響等もあり、中国本土・香港からの観光客数の減少は続いているが、航空路線の拡大が続いている台湾・韓国を中心に空路による客数が増加したこと等から、11月、12月は前年度実績を上回った。1月は中華圏の春節が今年は2月になった影響もあり、前年度実績を下回った。

主要ホテルの客室稼働率は、修学旅行による団体客の増加や、個人客需要の持ち直しから、那覇市内ホテル、リゾートホテルともに前年同期を上回っている。



入域観光客数等の動向

(単位: 千人、%)

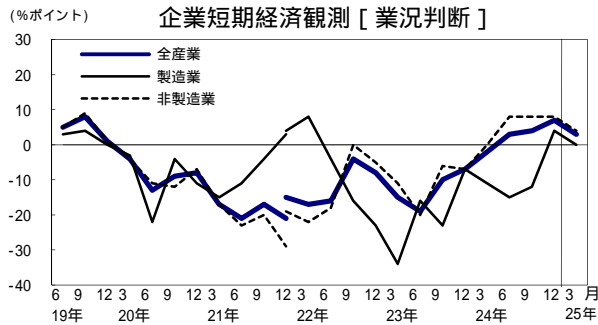
	24年4-6月	7-9月	10-12月	25年1月
入域観光客数	1,332	1,665	1,466	430
(前年比)	16.8	3.3	4.5	6.1
ホテル稼働率	64.3	76.1	66.5	-
(前年差)	9.3	1.8	0.7	-

(備考) 1. 入域観光客数は沖縄県観光政策課調べ。

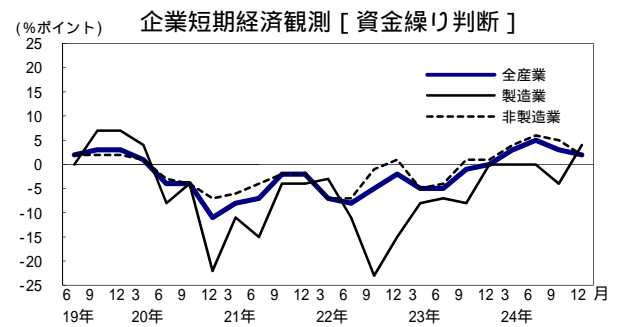
2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

(2) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

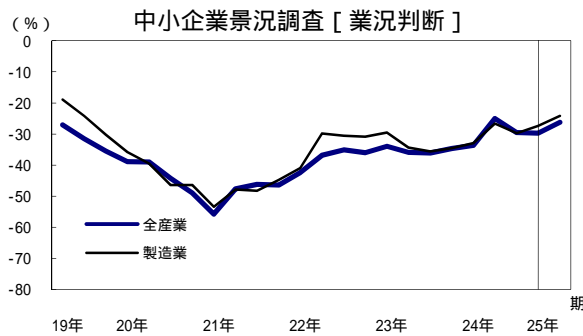
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。25年3月は予測。
21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。25年 期は見通し。
九州(含む沖縄)地区のD I。

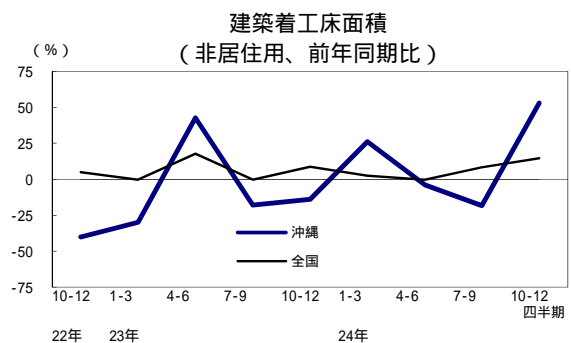
景気ウォッチャー調査(1月)[企業動向関連(現状)]
「公共工事向けは前年比で減少、民間工事は増加となっている(窯業・土石製品製造業)」など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた。

(3) 24年度の設備投資は前年度を上回る計画となっている。

企業短期経済観測調査 [設備投資(12月調査)]

	(前年度比、%)	
	23年度実績	24年度計画
全産業	14.3	6.8(1.3)
製造業	19.3	44.6(0.4)
非製造業	13.8	2.9(1.4)

(備考)()は前回(9月)調査比修正率。石油・電力を除く。



2. 需要の動向

(1) 個人消費は増加している。

百貨店販売額、スーパー売上高

大型小売店販売額は、前年同期比で1.6%減、前期比で11.0%増となった。

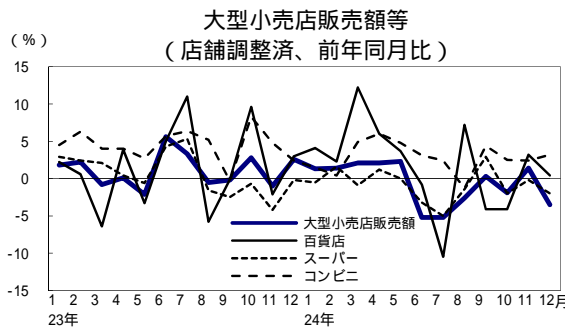
百貨店は、10月は昨年よりも土日の回数が1日ずつ少なかったこと等から、前年を下回った。

11月は昨年より気温が低かったことにより衣料品等が好調だったこと等から、前年を上回った。12月は店舗やフロアのリニューアル効果等により、前年を上回った。

スーパーは、新規大型店が出店したことや、伝統行事であるムーチの需要が1月にシフトしたことによる食料品の減少等により、前年を下回った。

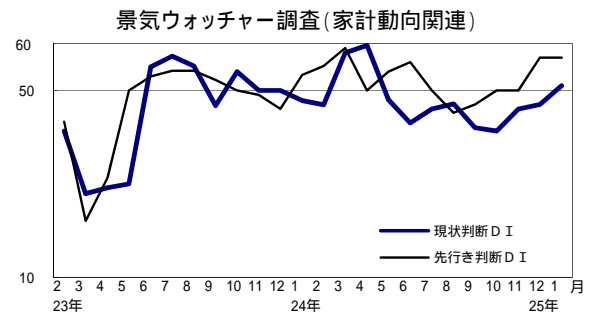
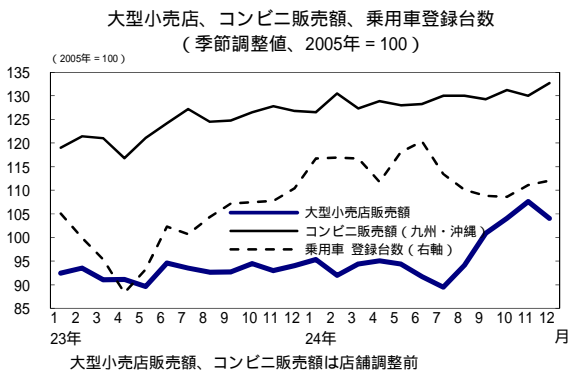
景気ウォッチャー調査(1月)[家計動向関連(現状)]

「消費税を意識した住宅建築相談が増える傾向が見受けられる(住宅販売会社)」など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた。



	24年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
大型小売店(*1)	1.6	0.3	2.6	1.6
百貨店(*1)	6.2	2.9	3.2	0.1
スーパー(*1)	0.0	0.7	1.3	1.4
大型小売店(*2)	3.5	2.3	1.3	11.5
(季節調整値)(*3)	(0.1)	(0.2)	(1.2)	(11.0)
乗用車(*4)	45.3	63.8	18.9	2.1
(季節調整値)(*4)	(17.0)	(0.1)	(10.5)	(0.4)

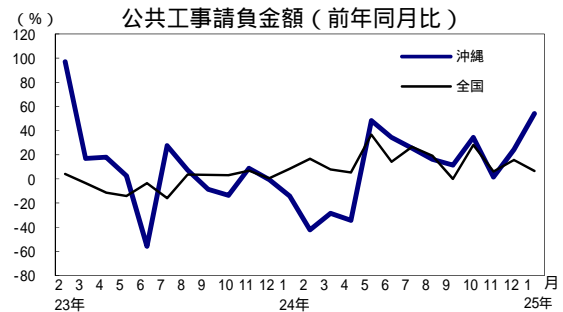
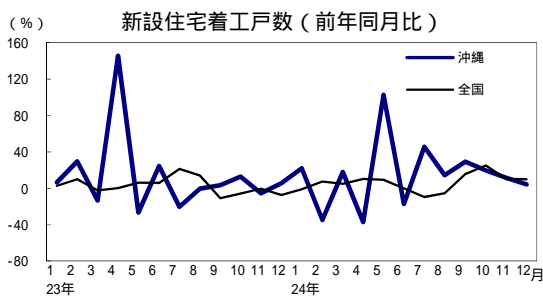
- (備考) 1. 大型小売店は経済産業省調べ(店舗調整済) 百貨店、スーパーは日本銀行那覇支店調べ(いずれも既存店) 前年同期比(%)
 2. 店舗調整前、前年同期比(%)
 3. 店舗調整前、前期比(%)
 4. 乗用車は乗用車新規登録・届出台数。(上段:前年同期比、下段:前期比、%)



(2) 住宅建設は増加している。

持家、貸家、分譲が前年を上回ったことから、増加している。

(3) 公共投資は24年度累計で見ると前年度を上回っている。

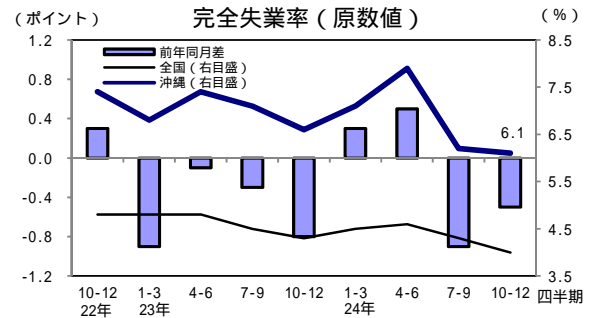
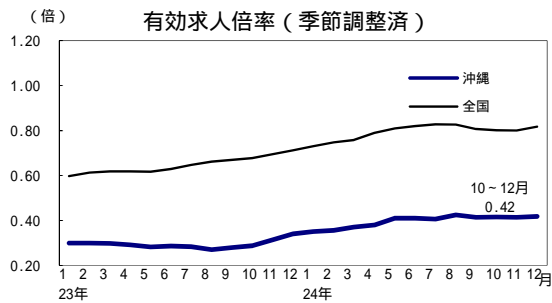


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は厳しい状況にあり、持ち直しに足踏みがみられる。

有効求人倍率及び完全失業率等

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。完全失業率は前年同期を下回っている。



(備考) 沖縄県の完全失業率は、沖縄県「労働力調査」より算出。

景気ウォッチャー調査 (1月) [雇用関連 (現状)]

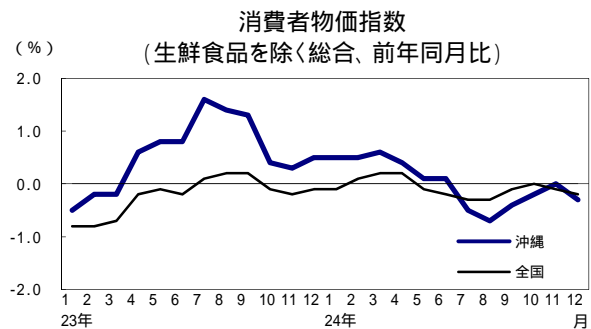
「この時期の雇用形態は契約社員求人が多く、正社員雇用を希望している求職者に対してはハードルを上げてきている感がある。中途採用の正社員雇用は極少である(学校[専門学校])」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに増加している。

(3) 消費者物価指数は前年比の下落幅が縮小している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	24年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	25年1月
倒産件数	19	16	19	17	6
(前年比)	5.0	36.0	9.5	6.3	0.0
負債総額	40	18	26	23	207
(前年比)	92.1	40.8	74.8	25.2	4116.5



景気ウォッチャー調査 (1月) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・競合他社数社では、住宅展示棟への来場が増え、引き合いも増えているとの情報がある。建売棟の販売についても順調である。当社の状況も悪くはなく、景気はやや良くなっているとみている (住宅販売会社)

<先行き>

・政府の景気対策で客の意識が変化し、購買意欲が高くなり財布のひもが緩みつつある (コンビニ)

